



思考する算数 5

解答

学芸・早慶・早稲田突破を目指す
SHOZEMI アルファ

問題 あるお店では、ミカンとリンゴとナシが売っています。ミカンとリンゴを1個ずつ買うと代金は140円^①で、リンゴとナシを1個ずつ買うと代金は180円^②で、ナシとミカンを買ったときの代金は120円^③です。

このとき、ミカンとリンゴとナシ1個のそれぞれの値段を求めなさい。

解説：ミカン1個の値段をA円、リンゴ1個の値段をB円、ナシ1個の値段をC円とします。

下線①～③を全てまとめて買ったとすると、ミカン、リンゴ、ナシそれぞれを2個ずつ買ったことになり、その代金は、 $140 + 180 + 120 = 440$ 円です。よってミカン、リンゴ、ナシそれぞれを1個ずつ買ったときの代金は220円です。これと下線①の金額の差80円がナシ1個の値段となります。同様に、220円と下線②よりミカン1個40円、220円と下線③よりリンゴ1個100円となります。

答え：答え：ミカン1個40円、リンゴ1個100円、ナシ1個80円

この問題では、まずは問題文を図で表したり、文字に置き換えたりすると、次に何をすべきかが見えてきます。また、数字を単なる「記号」と見るのではなく、「量」と捉えていけるようになっていくことが大切です。そのためにも、途中式を書く際には、この式で何を求めることができるのか？ということ意識しながら書くようにしましょう。